

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和2年度第1回加東市文化財保護審議会
開催日時	令和2年12月19日(土) 10時から12時まで
開催場所	加東市明治館(加東市社777番地)
出席及び欠席委員の氏名	(出席委員5人) 瀧原 務、神崎壽福、湖内克利、中西正和、小山真永 (欠席委員1人) 米田 豊
説明のため出席した者の職氏名	無し
出席した事務局職員の氏名及びその職名	加東市教育委員会 教育振興部生涯学習課 課長) 長田徹、係長) 岸本素直、主査) 藤原光平
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	Ⅰ 会議内容 (1) 会長選出 (2) 審議事項 ・ 加東市指定文化財の指定について (3) 報告事項 ・ 令和2年度加東市文化財事業について (4) 現地視察 ・ 加東市明治館 Ⅱ 会議の経過 別紙のとおり

令和3年1月29日

署名人 瀧原 務

署名人 湖内克利

(別紙)

令和2年度加古川流域滝野歴史民俗資料館運営委員会 会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
事務局	1 開会
生涯学習課長	2 挨拶
事務局	3 会長選出 ※各委員による推薦と承認のもと、瀧原委員を会長に選出。
会長	4 会長挨拶
事務局	5 審議事項 ・加東市指定文化財の指定について 申請物件：加東市明治館 ＜質疑・意見等＞
委員	加東市内で同様の内容の建築物は存在するのか。
事務局	近代和風建築の様式を用いた公共建築物という括りで言えば、現存するのは本物件と旧上東条村役場建物(加東市天神に所在)の2件である。その内、本物件は、郡域全体を所管する施設であり、比較的大規模な建物である点が特徴であると考え。市内の近代和風建築の事例については、兵庫県が以前に悉皆的な調査が行われており、その報告に準拠している。
委員	新町公民館(旧加茂村役場)は該当しないのか。
事務局	ご指摘の物件については、昭和以降に建設されたコンクリート造りの建築物であり、今回の指定候補とはやや位置づけが異なる。明治館については、近代の前半期に建設された木造建造物という位置づけで評価したい。
委員	建物主体部に見られる、天井を高くとって広い空間を実現するという手法が近代和風建築の特徴と説明されたが、近世以前の寺社建築にも同様の手法が見られるのではないか。それらとの構造上の違いは何か。
事務局	市内でも朝光寺本堂等、より天井高が高く広い空間を有する物件はあるが、空間内に天井を支えるための柱が幾本も据えられている。近代和風建築は、西洋の工法を取り入れて屋根裏の構造を工夫することにより、広間の空間内が完全な無柱で設計されている点が大きな違いである。
委員	取り入れられている西洋の工法というのは、具体的にどのような点があげられるのか。
事務局	先ほどご説明した主体部の天井を無柱で支える小屋組みの工法や、窓部分にガラス等を意匠している点が当時としては先進的な特徴としてあげられる。

委員	明石市の中崎公会堂の例をあげられたが、同時期に県内で郡公会堂といった類の建築物が多く存在していたのか。そもそもの母数がどの程度あったのか。
事務局	ご指摘のような類例については、当時の資料が少なく実態が不明であるため、明確な回答はできない。同時期の資料として存在が確認できる例としては今のところ中崎公会堂と本物件のみとなっており、県単位でみても希少な資料と考えられる。
委員	加東郡役所に関するデータは残っていないのか。
事務局	郡役所については、事務局でも関心を持って調査を行っているが、郡誌等のわずかな記録しか確認できておらず、当時の大まかな位置と、外観の写真程度しか把握できていない。
委員	明治館の設計者は不明とのことだが、類例である中崎公会堂の設計者は分かっているのか。
事務局	兵庫県の調査で報告されており、奈良縣で技師として古社寺修理に携わっていた加護谷祐太郎氏という人物の設計とされている。
委員	設計の特徴から明治館も中崎公会堂の設計者と同じであると言えないのか。
事務局	以前の改修工事の際にも、設計者に関する資料は発見できておらず、現時点では同一設計者と断定できるほどの確実な材料は得られていない。同一人物でなくても、前年に竣工した中崎公会堂の工事に携わった関係者の可能性も考えられ、今後の課題として調査を継続したい。
委員	今回の指定に際して、「加東市明治館」という名称は適切なのか。「明治館」と聞くと、篠山市の「大正ロマン館」のように洋館建築を思い浮かべ、公会堂という類の建物と一見して結びつけにくい。「旧加東郡公会堂」という旧名称をどこかに加えるべきではないか。
事務局	指定の正式名称に関しては、委員の方々からの意見を取り入れて答申していただきたいと考えており、今回提示した名称を必ずしも採用するべきとは事務局としては考えていない。
委員	「明治館」という名称はいつ頃ついたものなのか。
事務局	平成5年頃に行われた大規模改修に合わせて旧社町時代に変更されたもので、それまでは主に社町立中央公民館として利用されていた。
委員	登録有形文化財としての中崎公会堂の正式名称はどのようなものか。
事務局	「明石市立中崎公会堂」が正式な名称である。中崎の例や関係各所の意見を聴取しつつ名称の問題についてはもう少し検討させていただきたい。

<p>会長</p>	<p>名称の問題については、各委員でも十分検討して次回までに改めて意見をご提示いただきたい。</p> <p>指定までの経緯、今後の利活用の方針についても説明がなされて十分に理解でき、本物件の文化財的価値も指定文化財とすることに適当であると考える。今後、正式に指定文化財とする方向で答申の手続きを行っていきたいと考えるがよろしいか。</p> <p style="text-align: center;">＜異議なし＞</p>
<p>委員</p>	<p>6 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度加東市文化財事業について <p style="text-align: center;">＜質疑・意見等＞</p>
<p>事務局</p>	<p>後継者育成事業について、今年はコロナウイルスの影響により行事がいずれも中止となったということだが、補助金交付の取り扱いはどうなっているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>例年の補助金の執行方法として、各団体とも行事完了後に概算払いなし、実績報告後の清算払いというかたちで支払っているが、今年度については現時点で概算払いは行っておらず、実績報告をもって清算払いとする方向で各団体と調整している。ただし、行事だけではなく事前の練習や打合せなども実施できなかった場合、補助金の請求や実績報告自体を見送る団体がある可能性も考えられる。</p> <p>なお、本市としては今年度の状況をイレギュラーなものとして捉えており、今年度の事業の遂行状況をもって、来年度以降の補助金交付に影響を与えることはないものと現時点では考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>埋蔵文化財資料に関して、一般市民の目に触れる機会が少ないように感じる。できれば、定期的ないしは常設的に展示を行い、皆がいつでも気軽に加東の歴史に触れられる場を整えていただきたいと考えるが、そうした資料の活用について何か今後の方針はあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>埋蔵文化財資料の活用については、これまで不定期の企画展等で展示を行うことで市民の皆様にご紹介をしてきたところであり、さらに踏み込んで常設的な施設を整備してほしいという意見は以前からもいただいている。</p> <p>それを踏まえて、事務局では今年度、所管する加古川流域滝野歴史民俗資料館展示室のリニューアルを行うにあたり、埋蔵文化財資料を展示・紹介するコーナーを設けている。ただし、展示スペースの関係上、市内の歴史を十全に紹介するために必要な量の資料を配置できているとは言い難いため、今後何らかの形で改善できるよう対処していきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>コロナウイルスの影響がある時世を鑑みて、市内の文化財の紹介・活用策として、ネット配信(youtube等)やVRといったデジタル媒体を検討する予定はないか。学校のデジタル環境が整備されてきている昨今において、教材としても大いに活用できると考えるが事務局の方針はあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>デジタル技術の活用については、事務局でも以前から関心をもって検討</p>

委員	<p>を行っている。一例として現在、加東市のケーブルテレビで市内の文化財を紹介する番組を製作しており、そうした映像資料を資料館の展示に活用できないか模索している段階である。もう一步踏み込んでインターネット上での映像配信という部分については、権利関係の問題もありすぐに実現することが難しい状況であるが、引き続き検討を続けていきたいと考える。</p> <p>資料館のリニューアルについて、加東市の歴史が俯瞰できる良い展示になったと認識しているが、一方でこれまで重要視されていた滝野の闘竜灘と加古川舟運の展示スペースが縮小したことにより、本来の館の特色が少し後退したように感じる。</p> <p>可能であれば、加古川舟運の歴史を学習できるという貴重な特色を有する本来の資料館と、加東市の歴史を俯瞰できる展示を行う施設が別に整備されることが望ましいと考える。</p> <p>加えて、上記の要望を実現するためには専門的な人員をより多く配置する必要があるものと思っているので、十分検討していただきたい。</p> <p style="text-align: center;">＜異議なし＞</p> <p>この後、現地視察を行うので、会場での内容は、これを以て終了する。</p> <p>5 現地視察 「加東市明治館」</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
----	--